

平成 28 年度 12 月の市民の声（全 5 通のうち 4 通）

市民の声の内容と、そのお返事の一部を紹介します。

◇市の可能性について

【ご意見・ご提案など】

南魚沼市は、新潟県内においても、類まれなる発展の可能性を有していると思います。

理由は以下に挙げる 3 点（Ⅰ - Ⅲ）に集約されます。

Ⅰ. 魚沼基幹病院における出産数は、新潟県第二位に相当します。

i. 南魚沼市を出生地、即ち人生の出発点：故郷として持つ人が新潟県第二位のペースで増えているということです。これはとても大きな絆が、県内第二位のペースで増えていることにほかなりません。

Ⅱ. 魚沼基幹病院を核として、人が集まりはじめています。

i. 前項で述べた出生数を支えているのが、魚沼基幹病院です。魚沼基幹病院は、現在 320 床での運営となっております。本来は、450 床での運営を目指しています。（中略）現在は、看護師をはじめとするスタッフ不足で、病棟を開けない状況です。なぜスタッフが集まらないのでしょうか？その最大の理由は、病院に近くて安価で安全な宿舎の確保ができないという理由が最大と考えられます。また駐車場が狭いということも Bottle-neck になっていると思われます。これらは、適切に対処可能・解決可能な具体的な課題であります（出口の見えないトンネルではありません）。行政介入が最短最適ルートです。

ii. 病院と学校とは、何の宣伝をしなくとも人が集まるところです。（中略）

魚沼基幹病院の周辺に店舗が立ち始め、人の動きが出てきております。この右肩上がりの勢いを削ぐことなく、更に発展させるためには、魚沼基幹病院の、450 床フル稼働を、南魚沼市および魚沼市、十日町市、湯沢町（、小千谷市）と協調して、早期実現させることが、南魚沼市を中心とした魚沼地域の発展の最短最適ルートと考えます。（中略）

iii. 病院がフル稼働すると、南魚沼市への観光客が体調を崩した際の救難所として機能しますので、観光の安全面を影で支える貴重な戦力となります。特に冬のスキー場・温泉での怪我や体調不良などの際に、観光客に安全面から安心して来県いただける PR ができます。

iv. 南魚沼市の C C R C の健全発展のためにも、魚沼基幹病院のフル稼働

は、大きな要となります。

- v. よって、魚沼基幹病院のニーズに適切に対応することは、魚沼地域全体の発展のための、Low-risk&high-return の投資となります。(中略) もう明日からニーズの把握をはじめ、年内から行動に移しても良いのではいでしょうか? 数カ月単位でその効果は確実に現れると思います。今から行動するならば、2017年4月の魚沼基幹病院での新規雇用数が増加します(南魚沼市の経済活動が確実に拡大します)。

III. 県の関東からの玄関口です。隣(都)県に近いという特徴です。

- i. その特徴が、負に働いている部分があります。例えば、湯沢地区の高齢者の住宅医療に、群馬県の業者が介入しています。本来、新潟県(南魚沼市を中心とする魚沼地域)に落ちるべき対価(経済活動)が、他県に流出している状況になります。これは座視すべき現実ではないと思います。即時、現状把握を開始し、新潟県の医療・介護に関する経済活動の Return が、新潟県内(南魚沼市の経済活動や雇用の維持)に帰するよう行動を起こすべきです。調査結果を新潟県に上申しても良いかもしれませんが(新潟県として対策を講ずるべき問題でもあります)。
- ii. これからの時代は、教育機関と病院とが中核となって、地域社会が形成されてゆくと思います。(中略) いまこそ遅滞なくニーズを把握し、Bottle-neck を洗い出し、Low-risk&high-return の行政的投資を、適切に行うべきと思います。
- iii. 南魚沼市が成功するならば、新潟県全体を勇気づけますし、更には日本全体を勇気づける成功事例になるものと確信しております。
- iv. 東京オリンピックを控え、日本国民が目指すべき目標を共有している今こそが、好機ではないでしょうか。好機を逃さない適切な行政介入が、地域発展の Keyではないかと思う次第です。
- v. 東京に人と資本とが集中する余波を、最大限に吸収する準備をすべき適時にあると思います。

(平成 28 年 12 月 6 日)

【お返事】

市の可能性について分析いただき、ありがとうございました。

ご意見にあったとおり、魚沼基幹病院がこの地域の優位性を高めていることについては全く同感です。医療スタッフ不足の解消にも、鋭意取り組んでまいります。

近くて安い宿舎の確保は課題の一つですが、賃貸価格等は民間の相場で決まる

ため、市が直接関与することは難しそうです。魚沼基幹病院が職員へ支給する住宅手当の改善が、現実的な解決法ではないかと感じています。

駐車場については、整備済が 81 台、現在整備中が 170 台、平成 29 年度整備予定が 96 台、その後の整備計画が 254 台の予定です。(合計 601 台分。現在は不足分について、県と市で 344 台分を仮設対応中) 現在整備中の 170 台分が完成すれば、仮設を含め 595 台分となり効果が期待できます。

魚沼基幹病院のニーズについては、基幹病院の管理運営を行う一般財団法人新潟県地域医療推進機構の理事に市長が就任しておりますので、随時把握できております。病院長とも随時懇談を行っておりますので、ご安心ください。

在宅医療と介護の問題については、基本的に湯沢町の政策であり、当市はお答えする立場にありません。小出病院の療養型病床の遅れも影響していると推測しますので、今後は定住自立圏構想の中で議論が進むと考えております。

教育機関の誘致についても積極的に進めたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(担当：総務部秘書広報課)

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

◇バスツアーについて

【ご意見・ご提案など】

南魚沼市内のバスツアー（小型バス）を充実させてほしいです。六日町⇄大和方面と六日町⇄塩沢方面などに2～3時間で回れるコースをいくつか…。映画やドラマなどのロケ地巡りコースとか雲洞庵や関興寺など寺巡りコースでお抹茶や座禅など体験したり、体験コースでそば打ち、ちまき、稲刈りなど。南魚沼市を知ってもらう機会になると思います。コース中に地元のものを購入する場所に立寄ることも忘れずに。車を持っていないとどこにも行けない人も利用できるのではないかと思います。

（平成 28 年 12 月 16 日）

【お返事】

市では、市内の観光団体がバス旅行等を行う場合に、観光誘客に効果が期待できるものについて支援してきました。

例えば、六日町観光協会が大河ドラマ「天地人」の放映に併せた観光旅行、雲洞庵や牧之通りを巡る観光旅行、石川雲蝶の彫刻を巡る観光旅行、カタクリの花に関する観光旅行などを実施してきており、これに市が補助金を交付したこともありました。

しかし、残念なことに市内観光を行うバス旅行はお客様が集まりにくく、継続した運行が実施できていません。このため、現状では期間を限定するなどして行われている状況です。

昨年6月、南魚沼市観光協会が市の補助金を受けて第2種旅行業を取得しました。この資格を生かし、平成29年度からは南魚沼市観光協会が企画する観光旅行が実施される予定です。これにご意見を反映できるよう、南魚沼市観光協会にお伝えいたします。

（担当：産業振興部商工観光課）

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

◇市民バスについて

【ご意見・ご提案など】

私はもっと高齢者にも優遇して頂き度く^たお願い申し上げます。市民バスは祝祭日、土曜、日曜のほかは、毎日運行して頂いていますが、春夏秋期は、何日も乗客は少なくほとんど、乗っておりません。無料の時は、もっと利用者が多かったと思います。代金片道 200 円往復 400 円です。私は 3 年前までは車に乗っていましたが、免許更新の時、目の検査にて更新できませんでした。やむなく、バスを利用する様になりました。家族は妻と二人です。一週間に 3 回位買物に駅前のララまで行きます。そのほか市民病院、米倉医院に通院しております。

(中略)

私達は国民年金で低所得者です。(県民税・市民税) 免除家族です。地方税免除家族は只にして頂き度い^{ただ}です。若い人が入れれば日用品位^たは買って来て呉れ^いますが、それもなりません。林新市長様ぜひぜひお願い申し上げます。

(平成 28 年 12 月 21 日)

【お返事】

市民バスは、移動手段を持たない市民の日常生活における足を確保し、交通空白地域の解消を目的として、路線バスと同じように運輸局の許可を受け、定期路線として運行しています。

地方における公共交通は、自家用車の普及や人口減などで利用者が減少し、維持していくことが非常に困難になっています。このため、市では持続可能なバス交通を目指し、平成 27 年 10 月から有料化を行いました。

その際には、有料化について市民からもご意見等を伺い、みんなが分かりやすく利用できることを重視しながら運賃の検討を行いました。加えて路線バスの運賃も考慮し、その結果、市内一律 200 円という料金となったものです。

市民バスは、地域の重要な公共交通機関のひとつです。将来にわたって市民バス事業を継続していくためには、利用者からある程度のご負担をお願いしなければなりません。障がい者手帳などをお持ちの方など、条件によっては割引制度もあります。また、市民バスの車内では、11 枚綴り 1,000 円で 1 割お得になる回数券も販売しています。

有料化にご理解をいただき、多くの皆さんから市民バスをご利用いただきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

(担当：建設部都市計画課)
問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

◇交通マナーについて

【ご意見・ご提案など】

交通ルールや運転マナーを守らないドライバーが多くて歩行者が危なくて怖い件。

横断歩道に突っ込んだり、脇道から急に飛び出したり、大きなケガにはならなかったけれど、何度も車にぶつけられています。知らぬ顔で走り去ったり、中には逆に暴言を吐いて去っていく人もいます。交通弱者が安心して暮らせるようにしてほしい。

(平成 28 年 12 月 22 日)

【お返事】

市では、南魚沼警察署や南魚沼交通安全協会と協力しながら交通安全啓発活動を行い、運転者に対して交通ルールや運転マナーの順守を呼び掛けています。具体的な交通事故防止対策は、次の三点です。

- 1 市では、交通安全対策として各運動期間の広報巡回・街頭指導、市報や市公式ウェブサイトへの掲載の取組み
- 2 交通安全協会では、運転免許証の更新時の講話やDVD上映による交通安全の啓発と交通安全教室（対象：高齢者、園児、小中学生）開催の取組み
- 3 警察では、一般講習（企業や官庁等が中心）の開催、交通安全教室開催時の講話、パトカーによる巡回、交通取締り実施の取組み

以上、関係機関が交通安全の啓発に努めており、今後も機会を捉えて繰り返し周知を図って行きます。また、夕暮れ時や夜間に外出される際には、自己防衛として明るく目立つ服装や夜光反射材の着用、ライトの携帯などをお願いします。

今後も、交通弱者が安心して暮らせる南魚沼市になるよう、関係機関と連携しながら交通安全対策に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(担当：市民生活部環境交通課)
問合せ：秘書広報課 ☎773-6658